

第12回 岐阜県新型コロナウイルス感染症 教育推進協議会 議事要旨

日 時	令和3年7月9日（金） 15:00～16:00
場 所	県庁4階 特別会議室
出席者	<p><委員> 15名 松川 禮子 委員、山口 嘉彦委員（安藤正弘氏 代理出席）、 堀 貴雄 委員、水川 和彦 委員、名取 康夫 委員（宮部寿氏 代理出席）、 石田 達也 委員（鈴木彰氏 代理出席）、高橋 清仁 委員、服部 照 委員、 下屋 浩実 委員、加納 顯 委員、河合 直樹 委員、 青山 節児 委員、村上 啓雄 委員、竹内 治彦 委員 （青山委員はWeb会議システムで参加）</p> <p><県> 知事、河合副知事、平木副知事、教育長（委員） 環境生活部長、私学振興・青少年課長 副教育長、教育次長、義務教育総括監、教育総務課長 他</p>
議題	<p>議題1 県内及び学校における感染状況について 議題2 修学旅行について 議題3 熱中症リスクを踏まえたマスクの着用について 議題4 夏休みを迎える児童生徒・保護者へのメッセージについて 議題5 児童・生徒へのワクチン接種について</p>
配布資料	<p>資料1 県内及び学校における感染状況について 資料2 修学旅行について 資料3 熱中症リスクを踏まえたマスクの着用について 資料4 夏休みを迎える児童生徒・保護者へのメッセージについて 資料5 児童・生徒へのワクチン接種について</p> <p>参考資料1 夏に向けたリバウンド阻止対策（令和3年7月3日決定） 参考資料2 新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言等を踏まえた小学校、中学校及び高等学校等における新型コロナウイルス感染症への対応に関する留意事項について 参考資料3 岐阜県教育旅行支援事業について（令和3年7月9日）</p>

議事概要

<修学旅行について>

- ・ 修学旅行は、基本的には児童生徒の安全が最優先。今回提示された修学旅行マニュアルは「原則」として捉えればよいか。また、バスは通常どおりの乗車でよいか。
 →基本「原則」としていただきたい。バスについては1人1席としている。マスク着用のうえ、換気等を含めた感染症対策をしていれば、1人2席分等の増車対応を必要として

いない。

- 修学旅行では、大浴場のみの旅館もあるため、他の利用客と混在することがある。また、和室での就寝は大人数となるため、感染リスクが高くなるが、修学旅行マニュアルにより判断すればよいのか。
→食事は感染防止の配慮、入浴は時間差をつけるなど、施設側と十分な交渉の上、できる限りの感染防止対応に努めることが必要である。大人数での就寝についても、できる限りの工夫が必要である。
- 修学旅行マニュアルでは、修学旅行中に参加者の感染が判明した場合には、原則として旅行全体を中止することとしているが、どのような想定をしているのか。
→大部屋で1人でも感染が判明すれば、その部屋は濃厚接触者となる。さらに、旅行中の団体行動により濃厚接触者の可能性となる範囲が多くなるため、旅行自体の実施が難しいのではないかとのことである。
- 修学旅行の参加には、2週間前からの健康チェックが重要である。コロナ禍における修学旅行の実施については、従来からの形態を変えての実施となることから、保護者への十分な説明と、理解を求めていく必要があると考えている。

<マスク着用など学校における感染防止対策について>

- 小学校を訪問したが、マスクをしっかりと着用して授業を受けていた。保護者からは、マスク非着用の要望はなく、感染防止として着用を徹底してほしい声が多数であるとのこと。
- 水泳の授業では、広い部屋での着替え、学校が準備した不織布マスクを場面ごとに付け替えるなど、感染防止が徹底されていた。
- 園児のマスク着用については、室内では着用しているが、屋外については、文部科学省の通知もあり、多くは着用していない。教職員は、屋内外でマスクを着用している。
- 感染症対策の原則はマスク着用である。しかし、例外として、熱中症について心配な場合にはマスクを外すということとなっている。文部科学省の通知では「こういう場合は外す」と示しており、こういったことの徹底が必要である。
- 夏休みを迎えるにあたり、感染防止のハンドブックを作成し、紙と併せてデータでも提供を考えている。各市町村教育委員会においても、県のメッセージに加えて、各市町村、各学校のメッセージも併せるなど、丁寧な対応を考えている。

<ワクチン接種について>

- 保護者からワクチン接種の問い合わせがあった場合、学校としてはどのように回答するのがよいか。
→正しい効果や副反応を理解した上で接種の判断をお願いすることになるだろう。ワクチン接種の感染予防効果は高く、発症、重症化しにくい。一方で、数万人の一人という割合ではあるが、男子において心筋炎の発生率が若干高まるということも報告されている。これらの情報を説明した上で、お願いすることになるのではないかと。
- ワクチン接種に係る差別やハラスメントが心配。教員、生徒ともに接種のために不在になることで、接種した、しないが話題となっていく状況が生じることを心配している。
- 接種を希望しない人、接種ができない人が差別されないよう、徹底が必要である。